



橋本ゼミ 教養プロジェクト

(1)本（小説）～1980年までの作品

野原和敏



ハンス・クリスチャン・アンデルセン『絵のない絵本』

「もしもいま、わたしが人からいやしまれ
ているこの小路と小さい家とを見捨てた
なら、幸福もまた息子たちを見捨てるだ
ろう、というのが、この老婦人の信念だっ
たのです。」（p 67）



カート・ヴォネガット・ジュニア『スローターハウス 5』

ドイツ系アメリカ人四世であり

いまケープ・コッドにおいて（タバコの吸いすぎを気にしつつも）

安逸な生活をいとなむこの者

遠いむかし武装を解かれたアメリカ軍歩兵隊斥候すなわち捕虜として

ドイツ国はドレスデン市「エルベ河畔のフローレンス」の焼夷爆撃を

体験し生きながらえて、この物語を語る。これは、空飛ぶ円盤の故郷

トラルファマドール星に伝わる電報文的分裂症的物語形式を模して

綴られた小説である。

ピース。



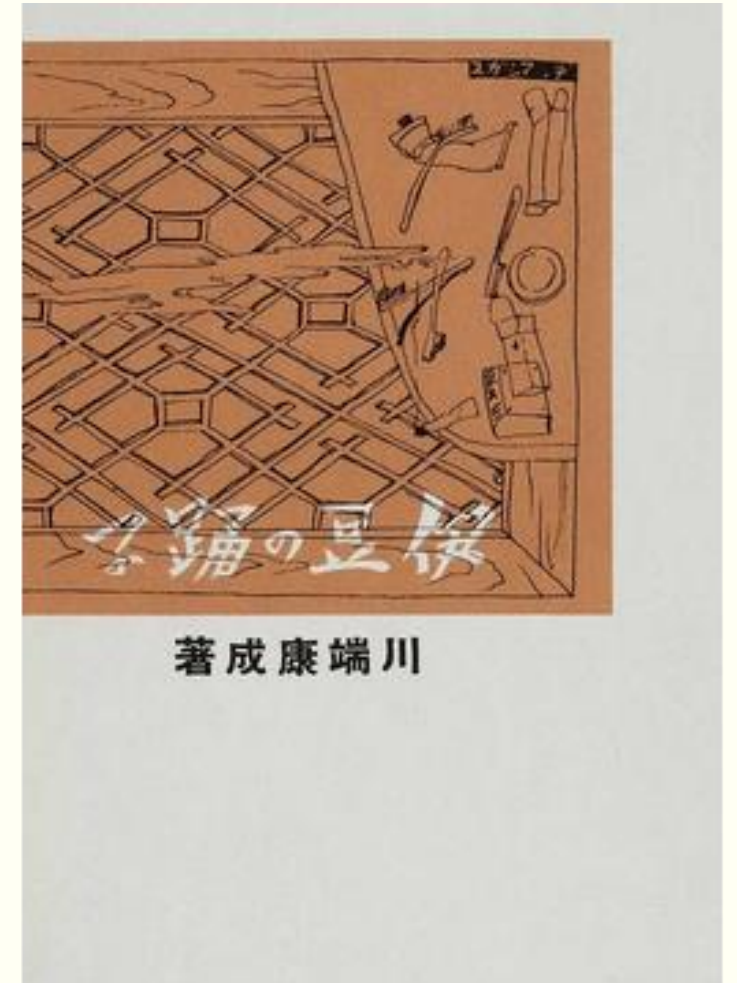
カート・ヴォネガット・ジュニア『モンキー・ハウスへようこそ 1・2』

- 永遠への長い道（つきあいきれない人）
- モンキーハウスへようこそ
- フォスター家の財産目録
- ハイアニスポーツ物語
- 手に負えなかった子供
- ユーフィオ論議



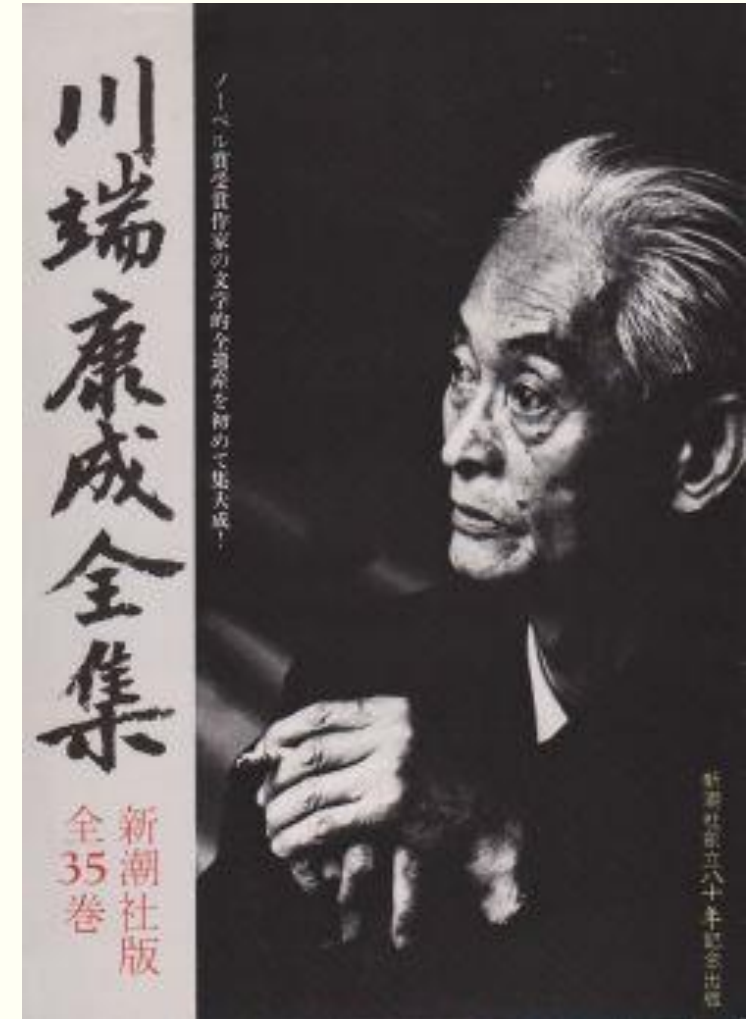
川端康成『伊豆の踊子』

「船室の洋燈が消えてしまった。船に積んだ生魚と潮の匂いが強くなった。真暗ななかで少年の体温に温まりながら、私は涙を出委せにしていた。頭が澄んだ水になってしまっていて、それがぽろぽろ零れ、その後には何も残らないような甘い快さだった。」



川端康成『篝火』

「そして、私は篝火をあかあかと抱いてゐる。こんなに美しい顔はみち子の一生に二度とあるまい。」



川端康成『山の音』

「菊子」と信吾は呼んだ。

「菊子は修一に別れたら、お茶の師匠にでもなろうかなんて、

今日、友達に会って考えたんだろう？」

慈童の菊子はうなずいた。

「別れても、お父さまのところにおいて、お茶でもしてゆきたいと

思いますわ。」と面の影ではっきり言った。」



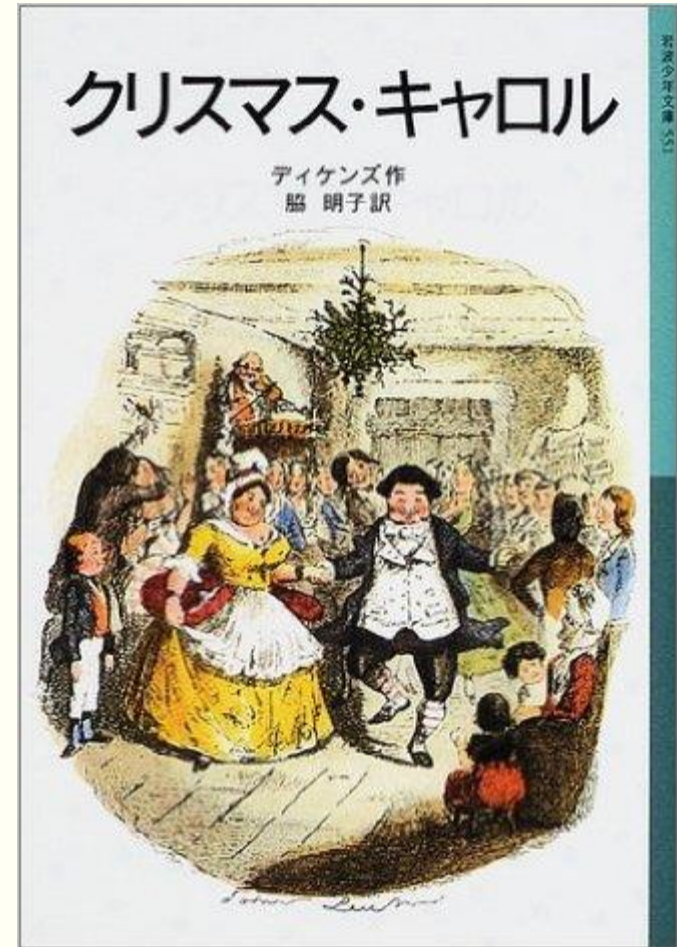
アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

「もし誰かが、何百万も何百万もある星のうち、たったひとつに咲いている花を愛していたら、その人は星空を見つめるだけで幸せになれる」



チャールズ・ディケンズ『クリスマス・キャロル』

「それから、クリスマスのお祝いのしかたをよく知っている人がいるとすれば、彼がいちばんよく知っている人だ、といわれるようになりました。わたしたちもみんな、ほんとうにそういわれるようになりたいものです！」



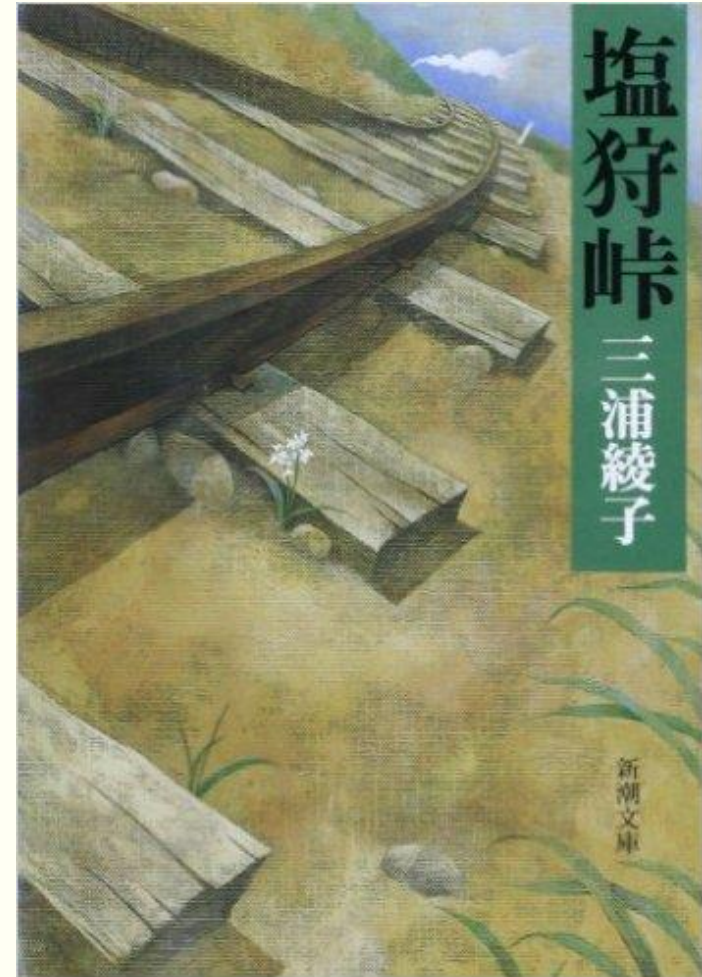
オー＝ヘンリー『賢者の贈り物』

「人生なんて、「泣きじゃくる」
「すすり泣く」それから
「ほほえむ」というこの三つから
なりたっていて、そのうちとくに
「すすり泣く」ことが、いちばん
多いのじゃないかしら。」



三浦綾子『塩狩峠』

「信夫さん。人間てね、その時その時で、自分でも思いがけないような人間に、変わってしまうことがあるものですよ」



カート・ヴォネガット・ジュニア『スローターハウス 5』

ドイツ系アメリカ人四世であり

いまケープ・コッドにおいて（タバコの吸いすぎを気にしつつも）

安逸な生活をいとなむこの者

遠いむかし武装を解かれたアメリカ軍歩兵隊斥候すなわち捕虜として

ドイツ国はドレスデン市「エルベ河畔のフローレンス」の焼夷爆撃を

体験し生きながらえて、この物語を語る。これは、空飛ぶ円盤の故郷

トラルファマドール星に伝わる電報文的分裂症的物語形式を模して

綴られた小説である。

ピース。



カート・ヴォネガット・ジュニア



トラルファマドール星人とは何か

「ビリー・ピルグリムはいう。彼らは、ひとつひとつの星のこれまでの位置、これからの位置を手にとるように見わたすことができるので、空はか細い、光るスパゲティに満たされている。また（中略）人間を、二足の生き物とは見ない。彼らの眼には、人間は長大なヤスデー「一端に赤ん坊の足があり、他端に老人の足がある」ーヤステのように見える。」（p 106）

「たとえばトラルファマドール星人は、ちょうどわれわれがロッキー山脈をながめるのと同じように、あらゆる異なる瞬間を一望のうちにおさめることができる。」（p 39）

トラルファマドール星人の死生観

人が死ぬとき、その人は死んだように見えるにすぎない、ということである。過去では、その人はまだ生きているのだから葬儀の場で泣くのは愚かしいことだ。あらゆる瞬間は、過去、現在、未来を問わず、常に存在してきたのだし、これからも存在しつづけるのである。（中略）一瞬一瞬は数珠のように画一的につながったもので、いったん過ぎ去った瞬間は二度と戻ってこないという、われわれ地球人の現実認識は錯覚に過ぎない。

トラルファマドール星人は死体を見て、こう考えるだけである。死んだものは、この特定の瞬間には好ましからぬ状態にあるが、ほかの多くの瞬間には、良好な状態にあるのだ。いまでは、私自身、誰かが死んだという話を聞くと、ただ肩をすくめ、トラルファマドール星人が死人についてという言葉をつぶやくだけである。彼らはこう言う、“そういうものだ”。（p 37）

ドレスデン無差別爆撃とは

- 1945年2月13日夜から14日の朝
- ドイツ東部の都市ドレスデンにイギリス空軍及びアメリカ空軍が爆撃。
- 死者数は25000から35000人という説が有力。



ユーモアとは、恐怖に
対する生理的な反応



おわり

-
- ここに最初の箇条書き項目を追加します
 - ここに 2 番目の箇条書き項目を追加します
 - ここに 3 番目の箇条書き項目を追加します